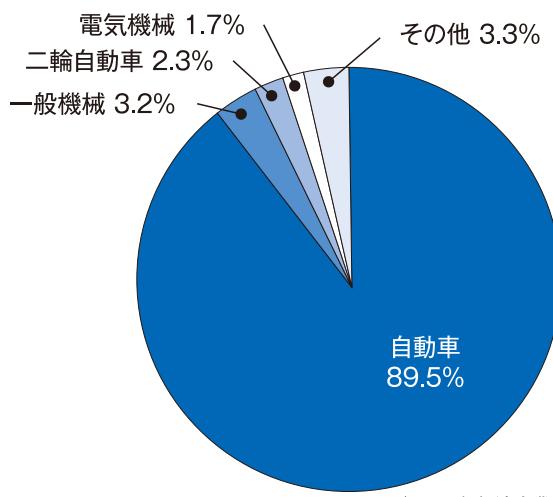


# ダイカストの歩みと生産量

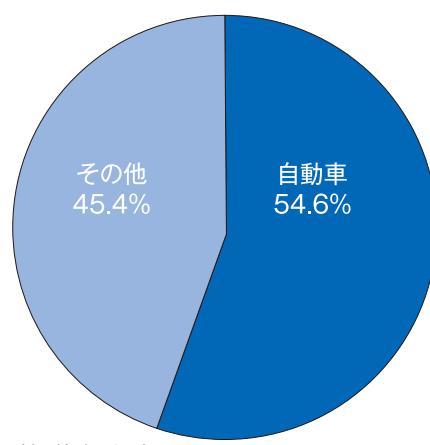
## 鋳物とダイカストの歩み

B.C4000年(紀元前)	メソポタミアにおいて鋳造で銅製の斧、ヤギリを製作	1970年(昭和46年)	崩壊性中子を使用したダイカストの開発
B.C.200年(紀元前)	中国大陆から日本に鋳造技術伝来	1972年(昭和46年)	チクソキャスト、レオキャストの開発
A.D.100年(紀元)	銅鐸・鏡を鋳造により製作	1972年(昭和47年)	日本工業規格JIS B6612
749年(天平勝宝元年)	東大寺大仏を鋳造により完成	1976年(昭和51年)	ダイカストマシン制定(2001年廃止)
1450年(宝徳2年)	グーテンベルク活版印刷機を発明	1976年(昭和51年)	日本工業規格JIS H5303
1838年(天保9年)	ブルースがダイカスト法を開発、活字を鋳造	1981年(昭和56年)	マグネシウム合金ダイカスト制定
1905年(明治38年)	アメリカのドーラーがダイカストの商業生産開始	1982年(昭和57年)	スクイズダイカストマシンの開発
1915年(大正4年)	アメリカのドーラーがアルミニウム合金ダイカストの生産開始	1984年(昭和59年)	ダイカスト研究発表会を日本ダイカスト会議として行う。同時に展示会も開催し、日本ダイカスト会議・展示会とする
1917年(大正6年)	輸入ダイカストマシン(手動式)により日本最初のダイカスト企業設立	1986年(昭和61年)	GF法の開発
1922年(大正11年)	国産最初のT式ダイカストマシン製作	1987年(昭和62年)	局部加圧ダイカスト法の開発
1940年(昭和15年)	航格7231 (アルミニウム合金ダイ铸物)制定	1994年(平成6年)	中圧ダイカスト法の開発
1941年(昭和16年)	航格7318 (マグネシウム合金ダイ铸物)制定	1996年(平成8年)	国内最大の4000tダイカストマシン生産
1947年(昭和42年)	新JES金属7183 (アルミニウム合金ダイ铸物)制定	1998年(平成10年)	チクソキャスト(半溶融ダイカスト)法の開発
1949年(昭和44年)	新JES金属7481 (亜鉛合金ダイ铸物)制定	2000年(平成12年)	高速射出ダイカストマシンの開発
1952年(昭和27年)	油圧電気制御式ダイカストマシン初めて輸入	2002年(平成14年)	レオキャスト(半凝固ダイカスト法)の開発
1953年(昭和28年)	高純度亜鉛日本で初めて開発	2004年(平成16年)	アルミニウムホットチャンバーマシンの開発
	日本工業規格JIS H5301亜鉛合金ダイカスト制定	2006年(平成18年)	高真空ダイカスト法、低速充填ダイカスト法の開発
1955年(昭和30年)	日本ダイカスト協会設立		自動車の足回り部品・ボディ部品のダイカスト化
1958年(昭和33年)	油圧式自動ダイカストマシン国産化		少量塗布型油性離型剤の開発・実用化
1961年(昭和36年)	日本工業規格JIS H5302アルミニウム合金ダイカスト制定		2プラテンダイカストマシンの開発
1967年(昭和42年)	亜鉛合金ダイカスト品質証明制度開始 第1回ダイカスト研究発表会 (現在のダイカスト会議)開催		日本工業規格JIS H5302
1968年(昭和44年)	PFダイカスト法の開発		アルミニウム合金ダイカスト改正 (ISO 規格との統合)
			過去最高の115万8千トンの生産量を達成
			全電動ダイカストマシンの開発
			3D積層造型(AM)によるダイカスト金型の三次元冷却回路の実用化

アルミニウム合金ダイカスト(%)



亜鉛合金ダイカスト(%)



(2020年経済産業省／鉄鋼・非鉄金属・金属製品統計による)

アルミニウム合金および亜鉛合金ダイカストの用途別生産量